



発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880



❖内容	16	特集 第53回児童生徒新年書初め展	19	えんぴつリレー／俳句・短歌
	18	ぼくとわたしの作品【小諸東中学校】／ご案内	20	今支館・分館では
			21	文化会館カレンダー／ご案内他



2016年にノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランが作った「FOREVER YOUNG」という曲が、『はじまりの日』（アーサー・ビナード訳／ポール・ロジャース絵 岩崎書店）という絵本になっています。

右の詩はその一節です。

「FOREVER YOUNG」という曲は、ボブ・ディランが息子のことを思い作った一曲だそうです。詩はまだ続きますが、読み進めるうちに、何度読んでも心にこみ上げてくるものがあります。

卒業、転勤、引越…、3月は別れの季節。旅立つ側、見送る側、立場は違っても、4月からは、お互い、また新しい「はじまりの日」が待っています。

きみが 手をのばせば
しあわせに とどきますように
きみのゆめが いつか
ほんとうに なりますように
まわりの 人びとと
たすけあって いけますように
星空へのぼる
はしごを 見つけますように
毎日が きみの はじまりの日
きょうも あしたも
あたらしい きみの はじまりの日

編集委員 金子 美江

第53回小諸市児童生徒新年書初め展



新年への希望や決意を表現することにより、健全な精神の育成を進め、小諸の書芸文化の発展を図ることを目的に、本年も児童生徒新年書初め展を開催しました。開催日の2月2日(金)～2月4日(日)には大勢の皆様にご来館いただきました。今年は610点の応募があり、その作品の中から市長賞をはじめとする特別賞に10点、特選に24点が選ばれました。

特別賞 ※作品の寸評 成沢臨舟先生

市長賞 二年 仲宗根茜 (なかそねあかね)

新たな目標 二年 仲宗根茜 (なかそねあかね)
 豊潤な墨量による重量感と行意を見せた運筆、意欲あふれるスケールの大きな作品となった。

市議会議長賞 一年 佐藤璃音 (さとうりのん)

将来の夢 一年 佐藤璃音 (さとうりのん)
 紙面いっぱい伸びやかな線で、確かな運筆と構造の巧みさが、印象の強い作品となった。

教育長賞 三年 吉野小春 (よしのこはる)

向上精神 三年 吉野小春 (よしのこはる)
 豊かで雰囲気のある運筆は豊富な練習量の成せる技か、新年の決意を感じさせる作品となる。

公民館長賞 六年 西澤美菜子 (にしざわみなこ)

希望の朝 六年 西澤美菜子 (にしざわみなこ)
 揺るぎのないしっかりとした骨格、正確な筆使い、名前が光る軽快明朗な美しい作品となった。

特選



- | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|-------|-------|-------|------|---------|--------|---------|---------|---------|
| 美南ガ丘小学校 | 美南ガ丘小学校 | 美南ガ丘小学校 | 美南ガ丘小学校 | 立科小学校 | 水明小学校 | 水明小学校 | 東小学校 | 美南ガ丘小学校 | 坂の上小学校 | 美南ガ丘小学校 | 美南ガ丘小学校 | 美南ガ丘小学校 |
| 三年 | 三年 | 三年 | 三年 | 四年 | 四年 | 四年 | 四年 | 三年 | 三年 | 三年 | 三年 | 三年 |
| 井出 | 佐々木 | 星野 | 山浦 | 小池 | 小林 | 町田 | 八巻 | 横山 | 五十嵐 | 北沢 | 乗附 | 井出 |
| 優 | 瑞 | 遥 | 詩 | 桃 | 由 | 知 | 彩 | 愛 | つぐみ | 彩 | 沙 | 優 |
| 音 | 季 | 菜 | おん | 佳 | 奈 | 保 | 夏 | 香 | かみ | 夏 | 那 | 音 |

文化協会会長賞

雪の正月

美南ガ丘小学校

五年

上倉 佳生

校長会長賞

希望の朝

東小学校

六年

甘利果衣良

書芸連盟会長賞

雪の正月

美南ガ丘小学校

五年

渡辺 大響

青少年育成会連合会長賞

生きろる力

水明小学校

四年

芦沢 宗紀

社会福祉協議会長賞

はるの光

美南ガ丘小学校

四年

林 輝寿

商工会議所会頭賞

つよい心

坂の上小学校

三年

土屋 心音

あたたかみのある素直な線で、バランスのとれた字形、格調が高く、気品ある作品となった。

柔らかな線でバランスのとれた字形、暖かみを感じる純朴さが印象的、心に残る良い作品である。

見事な安定感、温かな線と端正な字形に心とむ、初春の陽だまりの様な温かい作品である。

一点一画を正しい筆使い、ていねいに書いている、線質にも力強さが溢れ、良い作品である。

のびやかな豊かな線、脈絡のきいた丁寧な筆使い大変良い、温かい春の光を感じる作品である。

太い線で他を圧倒する存在感、小3とは思えない気骨ある字形、共に安定感抜群の秀作である。



児童生徒新年書初め展

美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校	美南ガ丘小学校
五年	五年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年
花岡	福島	神谷	佐々木	田中	柳澤	田中	土屋	影山	新津	磯田	成澤	花岡
佳音	未葵	詩来	未桜	朋花	文乃	文乃	文乃	文乃	文乃	文乃	文乃	文乃





『クラス全員で掴んだ W優勝』

小諸東中学校
二年二組
内藤 晴香



私のクラス二年二組は、今年の九月に行われた文化祭「白梅祭」で運動会・音楽会ともに学年で一位に輝き、W優勝を果たすことができました。

昨年は音楽会で金賞を獲得したものの、クラスの団結力が今よりなく、嬉しいようであ

まり実感がわきませんでした。しかし今年は、はじめの頃は意識に差があったけれど、ほんの少しの休み時間も歌に費やしたり、友達同士で声を掛け合っていくうちに、クラスの団結力は深まっていききました。

そして、迎えた白梅祭一日目の運動会では、練習の時、ペナルティがたくさんついてしまっていたりレーも、当日はペナルティなし。二人三脚大縄跳びも全て学年三位以内に入ることができました。

そして二日目の音楽会。私達が歌った曲は「いつまでも」とよ。サビの部分に、「ふるさとよ」という言葉がたくさん出てきます。私のクラスの中でも、小諸ではない、別の場所が「ふるさと」という人もいます。それぞれが違う「ふるさと」を思い浮かべながら気持ちを含めて歌いました。

二組は全校で一番最初の発表だったけれど、今まで練習してきたものを全て発揮し、聞いていた人みんなが故郷を思い浮かべられるような合唱をすることができました。

そして、結果発表の時に、「運動会、二学年総合優勝：二組！」「音楽会、二学年金

賞は二組！」と言われた時何ともいえない喜びを感じ、頑張った良かったと思えました。

そして、W優勝に至るまで共に頑張ったクラスメイトや先生方に感謝し、来年の白梅祭もW優勝を目指したいです。

『好きなことを 夢にする』

小諸東中学校
二年二組
柳 琴音



今、将来の夢はと聞かれたら美術品の修復士になりたいと答えます。これは私が二年間持ち続けている夢です。

私は今まで将来のことについてあまり考えていませんでした。将来の夢と言われても「〇〇になれたらいいな。」と思うだけで「なりたい」と強く思うことはありませんでし

た。しかし、あることがきっかけで修復士になるという夢を持ちました。

私は小さい頃から色々な展覧会に連れていってもらいました。そのこともあり、私は美術館に興味を持ち、将来博物館や美術館の仕事に就くことができれば楽しいだろうなと思っていました。小六の時にある展覧会に行き、修復を終えたばかりの展示品を見ました。そのとき、描かれた時の状態によりがえらせることができる修復技術に感動し、自分もその仕事に就きたいと思いました。中学に入り、修復することで修復する前は分からなかった作者の意図も分かることができることも知りますます修復士になりたいと思いました。

ささいなことから自分のやりたいことが見つけれられました。その夢を叶えるためにどの学校へ行けばいいかなど少しずつ、将来のことも考えるようになってきました。

もしかしたら夢は変わってしまうことがあるかもしれないけれど、今は修復士になるという夢に向かって頑張っていきたいです。

活動発表
してみませんか

文化センターでは、館内の共有スペースを日頃の活動発表の場として、開放しています。ぜひ、ご利用ください。



H28.8.26 「絵本朗読コンサート」より

【ロビーコンサート】
1日1団体

ロビーで団体やサークルの楽器、歌の発表など幅広くご利用いただけます。

【作品展示】

文化センター内に団体やサークルの作品を展示できます。

★募集要項がありますので、詳しくは文化センターまでお問い合わせください。

—お問い合わせ先—

小諸市文化センター

☎ 23-8880



『俳句 憑』

相生町区 野中 威



「こんにちは」声を掛けられる。声の主はジャージ姿の高校生。やや遅れて挨拶を返したが、気分は爽やかに変わった。これが挨拶の効用でしようか。

その挨拶は俳句のテーマの一つです。数年来、俳句の前講座の講師をして、俳句の作り方・鑑賞の仕方・俳句会を指導すると、その面白さや楽しさを実感し目を輝かせる

受講者がいらつしやる。また、小中高校生の俳句大会への応募作品の選考に携わる中で、しばしば気になるのは、固定観念にとらわれた俳句が夥しいことでした。添削を加えれば佳句になります。しかし、全体的には、俳句を作る為の基本的な理解ができていないのでしようね。

俳句は世界一短い一行詩。作り方・鑑賞の仕方には、基本的な約束事を習得することが必要です。大きく三つの約束事があります。

- (1) 一句に「季語」を折り込むこと
- (2) 五・七・五の十七音の「定型」に収めること
- (3) 一句の中に「切れ」を入れること

これらを毎日の作句活動の中で一つ一つを身に付けていきましよう。四季折々に際し感動したこと、気になったこと、目に付いたことなどの事柄をメモし内容を句にする。

(2)(3)は一定量の俳句に接していく間に馴れていくものです。特に(1)の季語の理解は大切な事です。季節を連想し、安定感や存在感を持っていますよ。古くは万葉の歌人、室町の連

歌師や江戸の俳諧師たちにより選別され、磨き上げられた歴史を持つ詞です。日本人の持つ美意識の集大成が俳句歳事記。読むだけでも面白い。楽しみながらマイペースでコツコツと続け、俳句仲間をもつこと。息の長い気持ちが大仕事なんです。

俳句を作ることは、季語を理解し吸収すること。一つ一つの季語の本意が分かると、身辺りの地味で何の変哲もない空間が明らかに変化していく。季節の移り変わりに敏感になる。身近な小動物や植物に親しみを感じる。物事を観察する眼が、少しずつ鍛えられ養われる。そしてその先にある審美眼を育てることになるんです。

俳句は、日々の風土・生活を詠うものです。折り込まれる季語は、千年以上にわたる伝統的な習慣やそれに伴う感情、美意識を内蔵している。俳句作者は、それを受け入れ共有しています。

だからこそ、他の文芸や芸術と異なり、少数から大勢の座の中で、作者になり読者になる。共同の理解が可能になる。実はこのことが俳句作者にとり、深い感動や喜びや楽しさや励みになり、俳句の魅力を得得するのです。さあ、騙されたと思って俳句を僕と一緒に始めてみませんか！

俳句

小諸俳句会

- 夜学果て一両電車一人かな 工藤 貢
- 雪吊りの縄のあそびの手馴れかな 井出 芳子
- 強霜の屹立妻のひとりごと 塩川 正
- あはあはと嬰の爪切る小六月 石田 経治
- 日向ぼこの母置き去りにしてしまひ 大池 知恵
- だれか来て薪足す月の湯浴かな 国見 敏子

短歌

短歌新潮こもろ会

- 長らえて飲むは面に哀しみは 萩原さち子
- 心に秘めて春の大地に 柿沢 仁子
- 黄昏れて埤へいそぐ鴉たち 今宵は紅葉に埋もれ寝ぬらん 柿沢 仁子
- 相つぎて二人の叔母の身罷りぬ 春寂しむも水仙芽吹く 饗場 陽子
- 佐久台地ひろき雪野にからまつの 裸木のれつ青空を突く 神津喜日子
- 蒸し芋箆に湯気立ちほくほくと 食欲そそり我肥ゆる秋 小平 靖子
- 夕映えのサイドミラーに映りいて ひとつ腸物心を満たす 田中 恵子

今支館・分館では

『伝承教室』

御牧ヶ原分館

昔より稲わらは生活の一番近くでミノや藁布団として人々を守り、納豆や麴を発酵させ食事を潤し、稲作とともに発展してきました。

昭和の中頃までは農家の冬場仕事として、縄・俵・筵づくりをして来季の準備をし、正月が近づくと門松やしめ縄などを作り、豊作や子孫繁栄を祈ったものです。

御牧ヶ原区では、しめ縄づ



くりを通して今の子どもたちが普段手にしたことのない藁に触れ、しめ縄を作ることで日本の伝統文化に少しでも触れてもらいたく、毎年年末に公民館事業として、育成会の役員の皆様が前日より藁や松・竹など材料を準備してくれ、老人会の方々が講師となり伝承教室を開催しております。

今年度は12月10日(日)に小学生を含めた20余名にて開催されました。

藁をなうことも初めての子どもたちには、しめ縄づくりは大変難しく、独特な結び方は大人でもなかなかてこずり子どもたちは四苦八苦しており講師に手伝ってもらい、やっとの思いで作りに上げていました。参加した子どもたちは自分の手で作り上げたしめ縄を大事に抱えて、喜んで帰っていきました。

新年を迎える行事としてしめ縄づくりを後世に伝えていくために、私は元気なうちは老人会として伝承教室に参加

して子どもたちに教えていきたいと思えます。

御牧ヶ原老人会 望月豊三



『カレー会』

富士見平分館

12月3日(日)富士見平区公民館でカレー会が開催されました。カレー会は今回で4回目。

PTAと育成会の主催で小学生が中心となってカレーを作り、日ごろお世話になっている地域の皆さま、一人暮らしのお年寄りの皆さんにカレーを振舞い交流を深める催しでした。

私が取材に伺った時にはすでにカレー作りが始まってい

ましたが、毎年恒例の行事ということもあり何回も参加している子ども達も多く、ピラーや包丁の使い方も慣れていて、とても上手に野菜を切っていました。また、初めて参加した子どもや包丁の使い方に慣れていない子はPTAの方に手を添えてもらって野菜を切る光景は大変微笑ましく感じました。

カレーは鍋に2つ。甘口と辛口の2種類を作り、出来上がりまでの待ち時間ではデザートのパフェに入れるフルーツを切ったり、トッピングの準備をしたりと楽しそうに時間を過ごしていました。

1時間ほどでカレーも完成に近づき部屋の中は美味しそうな匂いに包まれ、子ども達



も鍋をのぞき込んだりして、とても待ち遠しそうです。

いよいよカレーも完成し、配膳の時には子ども達が来てくださった方々に辛さの好みを聞いてまわり、それぞれの方たちに提供をしていました。私もカレーをご馳走になりましたが、野菜とお肉がたっぷり入っていてとても美味しくいただきました。

参加された年配の方のお話では、毎年この会をとっても楽しみにしているとのこと。「子ども達との会話も楽しく元気をもらえます。」とお話してくださいます。今回の取材でこのような世代間交流は地域の人々を元気にしてくれる会だなと感じました。

編集委員 山中祐子



第19回 虚子・こもろ全国俳句大会

— 表彰式・講演会のご案内 —

「虚子・こもろ全国俳句大会」の表彰式を行います。今年度は、当日句の募集とともに講演会も開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

□日時・場所 4月29日(日) / ステラホール (小諸市役所隣)

【講演会】 午後1時から (予定)
— 夏潮主宰 本井 英 —

【表彰式】 午後2時30分から (予定)
※当日句の席題掲示 午前8時30分 (予定)

■問い合わせ先 生涯学習課 生涯学習係 ☎22-1700



開催しました!!

親子はじめてのお抹茶体験

1月20日(土)

～参加者の声をお届けします～



まっちゃんは苦くてあまり好きじゃないけど、甘い鬼のおかしがおいしかったです。おもてなしの心が分かって良かったです。

おまっちゃん教室は、いろいろおもてなししてくれてうれしかったです。おかしは甘いし、おまっちゃんはちょっと苦かったけどまた飲みたいと思いました。

細かな動作でごちなくなってしまうましたが、先生方には丁寧に教えて頂き安心して出来ました。茶道の空間を体験する機会がなかなかないので親子で貴重な時間をありがとうございました。



畳の歩き方やふすまの開閉など日常動作はもちろん、相手のことを思うあいさつなど教えて頂き良かったです。親子で面と向かってきちんと頭を下げ合うことなんて普段ないので良い体験でした。



来年度も盛りだくさんの講座を計画しています。4月号に年間計画を掲載しますでお楽しみに♪

小諸市文化会館 3月スケジュール

日時	開演	イベント名	主催者
4日(日)	10:00	第14回北大井文化祭	北大井支館
8日(木)	10:30	介護報酬改定・介護保険制度改正説明会	長野県保健福祉部介護支援課
10日(土)	13:30	大合奏スペシャル	小諸市立野岸小学校
25日(日)	13:15	amitie音楽教室発表会	amitie音楽教室

※各イベント等の問い合わせは、主催者をお願いします。

3月予約受付日のお知らせ

- 【公民館・こもろ女性の家】 平成30年5月利用予約 3月1日(木) 受付開始
(貸出備品を含む)
- 【乙女湖体育館】 平成30年9月利用予約 3月1日(木) 受付開始
- 【文化会館】 平成31年3月利用予約 3月1日(木) 受付開始

